

補助事業番号 2022M-116  
補助事業名 2022年度 医療機器の整備 補助事業  
補助事業者名 日本赤十字社

### 1 補助事業の概要

新型コロナウイルス感染症患者の重症化において人工呼吸器の逼迫が原因で転院治療を余儀なくされる可能性がある為、補助事業により人工呼吸器を整備した。

### 2 予想される事業実施効果

新型コロナウイルス感染症患者が重症化した場合においても当院で早期に治療が出来るようになった。

### 3 本事業により導入した機器

- ① 人工呼吸器EvitaV800 ([公益財団法人JKA補助事業により人工呼吸器が整備されました - 庄原赤十字病院 \(jrc.or.jp\)http://www.shobara.jrc.or.jp/news/5516/](http://www.shobara.jrc.or.jp/news/5516/))

人工呼吸器は患者自身の呼吸だけでは生命の維持が出来ない状態になった場合、人工的に呼吸を補助する機械で、気管チューブを口から気管に挿入し、機械によって人工的に息の出し入れを行う。



人工呼吸器EvitaV800



庄原赤十字病院正面玄関

設置場所：【例：庄原赤十字病院】

② 本事業に係る印刷物等  
病院広報誌（現在校正中）

※令和5年1月発行予定の病院広報誌「そよ風」の原稿です。現在この内容で校正中です。

公益財団法人JKA補助事業により人工呼吸器が整備されました。

新型コロナウイルス感染症が重症化した場合、肺機能の悪化により人工呼吸器を使用する必要がありますが、これまでの当院における人工呼吸器の整備台数では、クラスターなどにより新型コロナウイルス感染症で重症化した患者さんが短期間に多数発生した場合の人工呼吸器不足が考えられる為、追加整備が急務となっております。



新型コロナ感染症の対応が強化

感染症指定病院である当院は、この度の補助金による人工呼吸器の追加整備により、人工呼吸器不足が解消されたことによって新型コロナ感染症などへの対応がより強化されました。



「この事業は、競輪の補助を受けて実施されております。」

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 日本赤十字社（ニホンセキジュウジシャ）

住所： 〒105-8521 東京都港区芝大門1-1-3

代表者： 社長 清家 篤（セイケ アツシ）

担当部署： 総務局財政部契約課（ソウムキョクザイセイブケイヤクカ）

担当者名： 主事 松原 昌平（マツバラ ショウヘイ）

電話番号： 03-3437-7076

F A X： 03-3433-8525

E-mail： keiyaku@jrc.or.jp

U R L： <https://www.jrc.or.jp/>